

令和2年度 下宿保育園の自己評価

・評価：良い=A 一部検討を要する=B 改善を要する=C

園長	主任保育士

◎保育の計画の編成と実施に関する評価

項目	内容	評価	振り返り・改善策など
保育目標について	(1) 保育目標（計画）の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえて重点目標を設定しているか。 (2) 目標は、施設や地域の特色を生かしているか。 (3) 目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか。 (4) 目標は、前年度をふり返り検討しているか。 また、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。	A	保育目標については、数年間同じ目標を定めているが、本年度は、子どもたちの育ちを考え、作成し実践できたと思う。目標については、振り返りを行いしっかりと共通理解を図りたい。
保育について	(1) 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。 (2) 保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っているか。 (3) 環境の構成を意識した保育や家庭を常に工夫しているか。 (4) 素材・用具を適切に活用しているか。 (5) 評価結果を基に、保育の改善に努めているか。 (6) 1日の流れ(デイリープログラム等)は現行でよいか。	A	環境の構成を重視した保育について、各クラスとも取り組みを進めている。子どもたちの育ちに沿いながら、一つの形ではなく工夫していく取組が見られた。 未満児保育における担当制については、保育者にとってもじっくりと一人一人に関わることができるようになったとの評価がある。今後も向上を目指して取り組みたい。
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。 (2) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。 (3) 乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか。 (4) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。 (5) 保護者の願いや意見を取り入れているか。	A	本年度は新型コロナウイルスの感染防止のため、多くの行事が延期、中止、縮小を余儀なくされた。しかし、子どもの楽しみを最低限損なうことなく、子ども中心の行事として取り組むことができた。またこのコロナがこれまでの行事の見直しを進めるよい機会ともなったと考えている。
給食	(1) 給食献立は園児に対しての工夫や配慮をしているか。 (2) 園児の年齢を考慮した食育計画で、食育を実施しているか。 (3) 食材の安全、衛生管理に努めているか。	A	給食担当と保育者との連携によって、よく献立がなされている。また食育の活動も、保育と協働しながら進められている。

◎保育の計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価

項目		内容	評価	振り返り・改善策など
経営組織	分掌・体制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。 (2) 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。 (3) 職員の配置は適材・適所か。 (4) 係や仕事の分担・割り当ては適切か。	B	組織の中の一員であるとの立場から、同じ方向を向きつつも互いの考えを受け入れ伝え合うなど、組織として改善検討の余地がある。
	運営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。 (2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。	A	定期的な会議が開かれている。本年度は、互いに司会進行をするなどの工夫が見られ、相互に積極的な議論も行われるようになってきている。それぞれの立場からさらに意見が出やすくなる工夫をしていきたい。
	年齢別・クラス運営	(1) 年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定しているか。 (2) 年齢別・クラス目標は、乳幼児の実態に即して設定しているか。 (3) 年齢別・クラス目標に迫る短期・長期のねらいは適切に設定しているか。 (4) 同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。 (5) 意識や趣旨を理解したチーム保育を行っているか。 (6) 評価・資料(諸記録)を集積しているか。	B	クラスの実情に即しながら、目標・運営は適切に行われているが、他のクラスを巻き込んだ幅広い視野をもったチーム間の協力がほしい。
	保健・安全指導	(1) 年齢別・クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じているか。 (2) 避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。 (3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。 (4) 乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。	A	計画に基づき適切に行うことができ、子どもの意識向上にもつながった。

研究・研修	園内研究・研修	<p>(1) 研究主題は、保育目標の具現化につながるものであるか。</p> <p>(2) 園内研修の計画・運営は適切か。</p> <p>(3) 研究の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映させているか。</p> <p>(4) 研究の実践による乳幼児理解が深まりをみせているか。</p>	A	<p>コロナウイルス感染症の影響で、多くの研修会が中止となる中、いくつかのリモート研修に参加することができ、この状況が続けば来年度はリモート研修の形で多く参加を促したい。反面、園内での研修は具体的で実際に即した研修を行うことができ、充実した研修ができたと評価したい。</p>
	園外研修	<p>1) 各種研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。</p> <p>(2) 各種研修会、講習会での内容を園内に還元しているか。</p>	A	
施設・設備		<p>(1) 施設内外・設備の安全点検、遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管しているか。</p> <p>(2) 不審者等に対応する周到な配慮を行っているか。</p>	A	<p>定期的に訓練を行うことができた。</p>
施設間交流・連携		<p>(1) 他施設等との年間交流計画は、保育目標や課題に沿ったものになっているか。</p> <p>(2) 他施設等の幼児児童生徒と触れ合う中で、(乳)幼児が楽しく過ごし充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。</p> <p>(3) 指導者どうしが、打合せや事前研修・合同研修を行い、互いの保育・教育に対する理解を深め、援助について共通理解を図っているか。</p> <p>(4) 参観や保育・授業等に参加するなどして、幼稚園・小学校の教育を理解しているか。</p> <p>(5) 日常的に情報を交換し、それを交流活動に生かしているか。</p>	B	<p>コロナウイルス感染症の影響で人的な交流がほとんどできなかった。小学校との連携は、より綿密な計画が必要とも感じる。</p>

開 か れ た 保 育 園 づ く り	地 域 交 流 等	(1) (乳) 幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。 (2) 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。	B	人的な交流がほとんどできなかった。来年度に期待する。
	子 育 て 支 援 の 推 進	1) 「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会や情報提供を設定しているか。 (2) 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。 (3) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。	A	保護者の相談があった場合には、丁寧に対応しているが、保護者同士が話ができるなどのフリースペースなど、もうすこし開かれた環境整備が必要とも感じる。
	情 報 公 開 等	(1) 保育園だより・クラスだより・ホームページ等で施設の情報を発信しているか。 (2) 行事や子育て支援事業等を、地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。 (3) 地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか。	A	保育園の情報発信は、行ってはいるが、今後はアプリ等も活用し、家族を巻き込むような情報発信を研究したい。

令和2年度 保育士の自己評価

評価：出来ている＝○ 努力が必要＝△

項目	内容	評価	振り返り・改善策など
子どもの最善の利益の尊重	一人ひとりの子どもの最善の利益を第一に考え、保育を通してその福祉を積極的に増進するよう努めているか。	○＝63% △＝37%	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの良いところを認め保育を進めていこうという努力はしていた。 その子がなにをしたいのか代弁しながら丁寧に関わることができた。 一人ひとりの最善の利益は考えることはできたが、それを次につなげることはできなかった。
	養護と教育が一体となった保育を通して、一人ひとりの子どもが心身ともに健康、安全で情緒の安定した生活ができる環境を用意し、生きる喜びと力を育むことを基本として、その健やかな育ちを支えているか。	○＝88% △＝12%	<ul style="list-style-type: none"> 担当制をする中で、一人ひとりの心身の状態、行動パターンに合わせ探索活動を大切にした。 一人ひとりの思いを受け止め、一人ひとりに合った関わりをするなどして安心して過ごせるようにした。
	子どもと保護者のおかれた状況や意向を受けとめ、保護者とより良い協力関係を築きながら、子どもの育ちや子育てを支えているか。	○＝75% △＝25%	<ul style="list-style-type: none"> 保護者からの相談を受け、一緒に考えたり、発達について話をすると安心感を感じられ、そのことが支えになったのではと思う。 保護者に会えた日はたくさん話をしたり、会えない日はノートで様子を伝え合い、良い協力関係を築けるよう努力した。 もう一步踏み込んで支援ができたのではないかと反省するところがある。
守秘義務	一人ひとりのプライバシーを保護するため、保育を通して知り得た個人情報や秘密を守っているか。	○＝100%	
協調	職場におけるチームワークを大切にしているか。	○＝88% △＝12%	<ul style="list-style-type: none"> 複数担任として共通理解をするためにも声かけやこまめに話し合いをしていくことの大切さを感じた。 常に報連相を意識し、協力して仕事をすることができた。 チームワークを大切にしないと適切な保育はできないと思う。
	担当クラス以外に園長、主任、調理員、他の職員とは、良好な関係を築けるよう努めているか。	○＝88% △＝12%	<ul style="list-style-type: none"> あいさつや返事はもちろんのことコミュニケーションをたくさんとり良好な関係を築けたと思う。 明るく楽しい雰囲気作りをしたり協調性に努めた。 伝え方、言い方、言葉が足らなかったと反省する。

自己評価	自らの行う保育について、常に子どもの視点に立って自己評価を行い、保育の質の向上を図っているか。	○=69% △=31%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 周りの保育者の良いところを取り入れ、子どもへの声かけの仕方、接し方など子どもの視点に立って保育ができた。 ・ 一日の振り返りをするよう毎日心がけていた。 ・ 自己評価は行っているが質の向上を図っているとまではいえないと思う。もっとしっかりと自分に向き合いたい。
利用者の代弁	日々の保育や子育て支援の活動を通して子どものニーズを受けとめ、子どもの立場に立ってそれを代弁しているか。 また、子育てをしている全ての保護者のニーズを受けとめ、それを代弁していくことも重要な役割と考え、行動しているか。	○=50% △=50%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子ども保護者の思いに応えられるよう最善の努力はしていた。 ・ 保護者とは第一に信頼関係を築いた上でニーズにこたえていきたいと常に思っている。 ・ かみつきが続いたり、気になる行動を伝えるときに難しさを感じた。
地域支援	地域の人々や関係機関とともに子育てを支援し、そのネットワークにより、地域で子どもを育てる環境づくりに努めているか。	○=50% △=50%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本年度は特に地域との交流は難しかったのではと思う。
責務	研修や自己研鑽を通して、常に自らの人間性と専門性の向上に努め、専門職としての責務を果たしているか。	○=69% △=31%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 園内研修では疑問に思っていることをテーマに挙げ、話し合いもさまざまな意見が聞けてよかった。司会が難しく課題となった。 ・ 園内研修を通して自分では思いつかなかった保育の仕方を知り、自分の保育に取り入れることができた。 ・ リモートでの研修をさせてもらい日々の保育に役立ちました。